

一時停止標識を設置

白石区川北1条3丁目3の交差点に一時停止の標識が設置され、7月15日、地域の皆様と一緒に現地を確認しました。



この交差点はこれまで度々交通事故が発生しており、地域のご要望を受け、道警察にも働きかけてまいりました。これからも、交通事故を未然に防止するため、安全対策に取り組んでまいります。

学校の熱中症対策を万全に！

道教委に緊急の申し入れ

9月4日、道議会公明党として、「学校における熱中症対策に関する緊急申し入れ」を北海道教育委員会の倉本博史教育長に対して行いました。

本年度は道内で猛暑が続き、熱中症警戒アラートが初めて本道全域に発表されるなど、気象状況が変化してきており、学校へのエアコン設置をはじめ熱中症対策の一層の徹底を図るよう申し入れました。

また、翌5日に開催された道議会文教常任委員会において、熱中症対策について質問しました。



豊平区・東山小学校前

手押し信号機を移設

9月2日、豊平区平岸4条11丁目の東山小学校前の手押し信号機の移設が完了し、地域の皆様と現地を確認しました。

この信号機は東山小学校の改築に伴い、移設の要望が好井七海札幌市議に寄せられており、一緒に道警察に働きかけていました。

地域の皆様から「交通量も多く、安心して渡ることができます」との声をいただきました。これからも、地域の交通安全対策に取り組んでまいります。

森しげゆきプロフィール

- 昭和28年6月12日 香川県坂出市生まれ
- 昭和47年 国立詫間電波高校(現香川高専)卒業
- 昭和56年 神戸大学経済学部卒業
- 平成6年 時事通信社退職
- 平成7年 北海道議会議員初当選
- 令和5年 同7期目当選
- ◆北海道議会
 - ・文教常任委員会 理事
 - ・新幹線・総合交通体系対策特別委員会 理事
 - ・北海道地方路線問題調査特別委員会 理事
- ◆公明党北海道本部 代表代行
- ◆北海道議会 公明党議員団 顧問

●●● 皆様の声をお寄せ下さい ●●●

森しげゆき事務所

〒003-0025 札幌市白石区本郷通2丁目北3-21
 TEL 011-860-4151/FAX 011-865-9043
 URL <http://kmplan.net/usr/mori/>
 E-mail sigemori@seagreen.ocn.ne.jp

発行:森成之/編集:ケー・エム・プラン

北海道議会議員
 〈札幌市白石区〉

森しげゆき通信



2023

秋号



かけがえのない命を守るために―― 道立子ども総合医療・療育センターを視察

道議7期目を迎えたこれまでの議員活動の中で、特に力を入れてきたことのひとつが「かけがえのない命を守る」ということです。それは医療技術を後押しするだけではなく、救急医療における陸上や航空搬送体制の強化、また、小児医療の充実や最近のコロナ禍への対応など多岐にわたっています。

8月1日、札幌市手稲区にある、PICU（小児集中治療室）などを備えた小児専門病院の北海道立子ども総合医療・療育センター（愛称:コドモックル）を視察しました(写真上)。

道議会公明党が要望してきたメディカルウイング（医療用小型ジェット機=写真右）を



活用し、治療が終了した小児患者を地元医療機関へ戻り搬送する事業が今年度から公費で行われることになり、高室基樹センター長から「搬送における小児の負担軽減や限られたベッドの有効活用ができることから、大変喜ばしい」とのお話を伺いました。

このメディカルウイングを活用した事業は平成29年7月から始まり、令和5年3月末までに釧路や稚内、また、函館などから124人が搬送され、大きく病状の改善につながっています。

また、道議会公明党として推進してきたドクターヘリの導入も現在、全道4機体制で運航されており、令和4年度の出動件数は約1100件で多くの方の命を救うことにつながっています。

- 命を守るためのこれまでの主な取り組み
- ①ドクターヘリの導入・拡大
 - ②メディカルウイングの本格運航を実現
 - ③道立札幌医大の再生医療を後押し
 - ④「コドモックル」の開設と施設整備
 - ⑤救急搬送を見据えた道路網の整備
 - ・札幌道から札幌都心へのアクセス強化
 - ・高速道路の4車線化を促進
 - ⑥新型コロナ感染症対策
 - ・道への6回に渡る緊急申し入れ
 - ・ワクチン接種の促進など

再生可能エネルギーをさらに—— ●●●●●●●●

8月10日、道議会公明党として、豊富町を訪問し、今年4月から稼働した国内最大級の蓄電池施設を併設した電力送電網設備を有する北海道北部風力送電株式会社を視察しました。

道北地域は年間を通した風の強さなどから風力発電の適地とされていたものの、送電網などの関連設備に余力がなく、発電設備の拡張が進んでいませんでした。

今回、送電網や蓄電池施設が整備されたことで、今後、3年間で稚内市や豊富町、幌延町に風力発電所が9カ所順次稼働し、発電量は合わせて54万キロワットに上ります。また、蓄電池施設は72万キロワット時の大容量で、天候に左右されやすい風力発電の周波数変動を最小限に抑え、安定的な送電が可能になります。



道議会公明党として、議会質問や予算要望などで再生可能エネルギー普及を後押ししてきており、これからも、脱炭素社会の実現に向け、エネルギーの「地産地消」を進めてまいります。



5月23日、人口知能(AI)や自動運転に使われる次世代半導体製造工場を千歳市内の千歳美々ワールド内に建設するラピダス(東京)のプロジェクト説明会に参加しました。

工程表によると試作ラインの稼働を2025年4月とし、27年には量産化し、技術者・研究者は1000人規模になるそうです。こうしたラピダスの進出が全道の経済活性化につながるよう、半導体関連の人材の育成やデジタル関連産業の集積などを後押ししてまいります。



ラピダス社が建設する工場の完成イメージ

作成：Rapidus(株)、作図協力：鹿島建設(株)

物価高騰から暮らしを守る！

5月17日、物価高騰対策として総額233億円の補正予算案を可決し、臨時道議会が閉会しました。

この予算案には、道議会公明党として3月20日に知事宛に緊急要望した内容が数多く反映されており、LPガス料金の負担軽減として、1契約者当たり2000円を値引きする事業をはじめ学校給食の原材料費を支援し、保護者負担を軽減する事業、また、バス、トラック、タクシーなど物価高騰で厳しい経営状況にある事業者に対する支援などの予算が計上されております。

今後とも道民生活への深刻な影響が続くと懸念される物価高騰対策に全力で取り組んでまいります。



3月20日に鈴木知事に宛てた緊急の要望書が補正予算に反映されました

発展進む石狩湾新港を視察



7月6日、石狩湾新港管理組合を訪問し、港の概要について説明を受けました。

主な輸出品は金属くずや再利用資材、輸入品はLNGや石油製品などですが、近年は農水産物の輸出にも力を入れております。

また、沖合では国内最大級の洋上風力発電施設が工事中で、1基当たり8000キロワットを発電できる風車を14基建設し、一般家庭の約8万

3000世帯分を発電することができ、年内には発電を開始する予定です。



風力発電施設は専用の船で高さ約90mの支柱に長さ約80mの羽が3体取り付けられます。

再生医療の見通しについて意見交換 札幌医科大学で——

6月22日、札幌医科大学を訪問し、担当の本望修教授と再生医療の状況について意見交換しました。

保険診療が始まっている脊髄損傷の治療については、これまで札幌において100人を超える治療が行われており、東京においても治療が始まっております。

また脳梗塞の治療も続けられており、認知症の治療や筋肉が徐々に動かなくなっていく「ALS」(筋萎縮性側索硬化症)の治療にも効果があると報告を受けました。これからも実用化に向けて後押ししてまいります。



道立衛生研究所を訪問

感染症対策で意見交換

5月1日、道立衛生研究所を訪問し、感染症対策の強化策などについて、意見交換を行いました。

同研究所は、新型コロナウイルスの感染拡大以降、道内の疫学的な調査や研究など大きな役割を担ってきました。

国においては感染症に関する専門組織を一元化した「日本版CDC(疾病対策センター)」として「国立健康危機管理研究機構」が創設されることになっており、現場の感染状況を提供する衛生研究所との連携強化が益々重要になってきます。これからも、道立衛生研究所の活動を後押ししてまいります。

